

さくら

題字 足立区長 近藤 やよい
足立区民生・児童委員協議会だより

発行

足立区民生・児童委員協議会
会長 宮崎 十三
編集 広報委員会
発行日 2014年3月1日
〒120-8510
足立区中央本町1-17-1
TEL 03-3880-5870

目次

会長 紹介	2
退任者・新任者名簿	3
委嘱状伝達式	3
東京都大会	5
全員食事会	6
団体名シリーズ	6
大谷田小防災訓練	7
絆 づ く り	8
編集 後記	



伊興小5年 落合弘希 作 「シンカイギョ」

ご挨拶



足立区民生・児童委員協議会

会長 宮崎 十三

去る12月1日付けにて、足立区民生・児童委員協議会より推薦を受け、私の尊敬する中田貢弘会長の後任として就任いたしました。

微力ではございますが、中田会長の4期12年間に渡る福祉事業の功績を汚すことなく、足立区区の社会福祉の増進のため、また足立区民生・児童委員協議会の発展のため、専心努力いたす所存でございます。何卒皆様の、ご協力を宜しくお願い申し上げます。

退任にあたって感謝御礼



足立区民生・児童委員協議会

特別顧問 中田 貢弘

4期12年間会長を私が何とか出来ましたのも、故中村新一氏、関根眞教氏、会長職務代理の宮崎十三氏、そして歴代合同会長、地区会長さん、そして何よりも各委員同志のご支援ご協力があったからであります。

また、歴代の部長様をはじめとした福祉部の方々のご指導のおかげだと思っています。たいしたことは出来ませんでしたが、私が誇りに思っていることは3つあります。

- ①足立区福祉功労を10年にいただいたこと
 - ②退任民生・児童委員を優遇していただいたこと
 - ③都民連常務委員長として、23区26市1郡4支庁の融和につとめたこと
- 多くの人とふれあい、自分が一番得をしたように思っています。「人財産」を残せたことに感謝しています。

なお、後任の宮崎十三氏は人格識見共に勝れた方で、私にいただいた御心を是非宮崎氏にもお願いしてご挨拶いたします。



会 長 紹 介

合 同 会 長



会長職務代理
第五合同
江新地区
飯塚 茂



協議会会長
第七合同
東栗原地区
宮崎 十三

特 別 顧 問



特別顧問
第四合同
9地区
中田 貢弘



第一合同
5地区
平林 治



第二合同
18地区
小久保 隆



第三合同
10地区
堀口 勝廣



第四合同
7地区
齋藤 武次



第六合同
15地区
山本 祥一

地 区 会 長

第一合同



常東地区
中根 昇



3地区
持齋 忠伸



4地区
大室 博

第二合同



佐野地区
加藤 眞吾



神明地区
堀井 洋二



東綾瀬地区
星野 雅夫

第三合同



6地区
森 春枝



11地区
隈元千代子

第四合同



8地区
茂木 芳治



9地区
市村 智

第五合同



13地区
鈴木 和男



鹿浜地区
野辺 陽子

第六合同



14地区
小金井堅治



渕江地区
坂田 誠



竹の塚地区
飯泉 節子

第七合同



17地区
小宮俊一郎



花畑地区
中崎 幸子



19地区
寺山みよ子

部 委 員 会 長



子育て支援
研究部会
田中真季子



児童福祉
研究部会
早川 元康



障がい者福祉
研究部会
遠間 道也



生活福祉
研究部会
齋藤 敏彦



高齢者福祉
研究部会
宮田 房子



主任児童
委員会
小宮 謙治



広報委員会
秋本 雅信

行 事 予 定 と お 知 ら せ

月 日	内 容	場 所
4月	4月期 各地区自主研修	各地区指定場所
5月12日(月)～18日(日)	民生・児童委員PR週間	区役所アトリウム・庁舎ホール
6～7月	ケースワーカー懇談会	各地区指定場所



お疲れ様でした 退任の皆様

第一合同

柳川 峯子
吉田喜美子
加藤 鈴子
永倉 進
勝村 節子
山田 芳枝
青木 京子
浅川 全代
大久保義子
篠崎 啓子
源崎 英子

第二合同

渡邊 晴子
寶田 信夫
金子みき子
阿部 英二
治田 陽子
相澤 明義
小森 幸枝
鈴木 美歌
金杉 光司
小池 浩子
深井 恵子
矢作 繁男
齊藤 節子
小坂ひさ子
山野 榮治
吉田 幸雄

第三合同

佐藤 篤子
飯塚 正勝
濡髪 和美
中山 佳子
入澤むつみ
柿崎 征一

第四合同

保坂まさい
村松 キヨ
中島 勝美
片野 富雄
田中 榮一
石井 静子
三橋 榮子
大島小真里
國井 誠
鈴木 保裕
桐山 貞久
田村 信義
木島 利男
藤田 里代
中田 康博

第五合同

楠美 順二
原田 玲子
浅賀 和子
八木富美子
下川 進
清水 洋子
江川 忠雄
緑川 智子
高野 季
宇田川尚子
篠山しげ子
川崎 重代

第六合同

横田 静江
薊 登喜江
竹村 ウメ
宇佐美和子
三崎 登子
杉本 恵子
井上日和子
角田 正美
武内 啓友
中浦 君枝
須賀 透
鈴木 岑子
森 由美子
嶋村 定信
石井 永子
相川 輝子
石鍋ヒデ子

第七合同

松本 律子
伊藤 徳治
石鍋 昭男
林 幸
別所机久枝
池嶋 清郎
當麻 文江
有馬 妙子
小杉 郁夫
鈴木 重子
岡田 正憲
下畑 靖子
栗原 廣子
甘利みちる

(敬称略)

※第六合同武内啓友様におかれましては、2月13日にご逝去されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

新任民生・児童委員紹介

第一合同

上野千代子
寺崎 哲夫
豊住いずみ
中村 康子
益子 完治
瀬口 淑子
久保田富士江
数山あかね
萩原三知代
山口真理子

第二合同

鈴木 淳
坂野 正章
成瀬しおり
小野由美子
上野 剛
大川 正江
菊池 孝子
金杉 栄一
藤田とみ子
佐藤 純子
岩井 和美
新藤 功江
上谷地ヒデ子
山野 一郎
吉田 和幸

第三合同

井口 敬子
吉田 誠一
佐々木恵子
高橋 秋由
大塚 幸子
大竹 吉男
高橋 慶子

第四合同

佐々木政子
落合 睦美
藤田昭一郎
由羅 久江
加茂 光恭
大関由紀江
榊 孝子
佐藤まり子
小宮美都子
山本 健嗣
田口 治雄
荒堀 明美
内田 聖子

第五合同

稲葉 義彦
清水 直子
三浦美智子
南 純代
小泉 博
阿出川孝行
江川 淳一
木村 克博
西澤てる子
清水 康弘
齊藤 教子
阿出川恵子

第六合同

新井 清子
福田 市雄
横田 富子
江川 礼子
岩崎みち子
嶋村喜代美
永見ゆかり
高橋 純子
新井恵美子
石丸亜佐子
荒井 建一
平井 孝宗
鈴木 富枝
宇佐美康臣
市川 欣也
長谷川京子
清水 良江

第七合同

衆名 一徳
佐藤 進
永瀬由美子
小林 一行
長島 正恭
豊田 竹子
藤田万里子
前田 早苗
山崎八十男
増田 幸江
米田栄美子
赤羽 月子
栗原 栄子
赤岩 明美

(敬称略)

12/12 委嘱状伝達式



伝達が行われました。

今年度は一斉改選の年で、再任・新任合わせて541名（新任88名）の方が委託を受けました。

委員一人一人の名前を呼ばれると、近藤区長はその都度一礼してくださいました。区長からは「足立区の民生・児童委員の仕事は量・質ともに日本一。個々の

平成25年12月12日、西新井文化ホールにて、厚生労働大臣からの委嘱状の

責任感も強く、区政の下支えをしっかりといただいています。そして推薦会・推薦準備会委員の方の尽力にもお礼申し上げます」とのお言葉をいただきました。

その後、宮崎十三民生・児童委員協議会会長の挨拶に続き、中田貢弘民生・児童委員協議会特別顧問へ区長から感謝状の贈呈がありました。最後に民生委員の歌「花咲く郷土」を斉唱し閉会となりました。

伝達式を終え、もう一度民生・児童委員信条を心に刻んだ一日でした。

(7地区 井上みよ子 記)



祝

叙勲 瑞宝単光章受章



宮崎十三連合会長

去る11月3日付瑞宝単光賞の栄を受けました。
ただ長く民生・児童委員をさせて頂いている
ということだけで受賞の栄に浴する事となり、身
にあまる光栄です。皆様方のおかげと深く感謝を
しております。

私は幸福者です。

健康で丈夫な身体を授けてくれた亡き母に感謝。
亡き妻が2人の娘を残し、私の面倒をみてく
れている娘達に感謝。そして良き友に恵まれ、共に生
きる日々に感謝。

この三つの感謝の気持ちを忘れずにこれからも、

歩んで行きます。

結びとなりますが皇居にて天皇様に拝謁し豊明
殿にてお言葉を頂き、私の記録ですが披露させて
いただきます。

今日はおめでとう“日頃より国、国民のため尽
くしてくれて有り難う”日々の努力が報いられて
受勲となりました。

これからも身体には、十分気をつけてますます
元気でいてください。おめでとう、感謝の意を表
します。

このお言葉を頂き、胸が熱くなるのを覚えました。

平成25年度民生・児童委員各種表彰受賞者名簿

敬称略

叙勲 瑞宝単光章

宮崎 十三

厚生労働大臣表彰

中浦 君枝

東京都民生委員児童委員連合会感謝状

足立区民生・児童委員協議会

東京都知事表彰 規則表彰

宮田 房子 清水 千鶴 石井 幸 小池 浩子 佐藤 篤子 奥倉 勝己 安岡 忠雄

東京都知事表彰 特別功労

横田 芳子 勝村 節子 川村 育三 星野 明美 青木 京子 森 春枝
内木 正夫 茂木 芳治 田中 榮一 石井 静子 大石 瑞枝 渡邊 豊子
増田三恵子 江川 忠雄 中村すみ子 小久保 隆 寺山みよ子 星野 雅夫
金子 良子 齊藤 節子 小坂ひさ子 近藤 悦子 藤野 俊子

東京都知事表彰 一般功労

大久保柳子 阿部 英二 持齋 忠伸 土屋 稲善 渡邊 捷司 矢作 繁男 富澤 一枝

全国民生委員児童委員連合会会長表彰 永年勤続民生・児童委員表彰

横田 芳子 勝村 節子 川村 育三 星野 明美 青木 京子 小久保 隆
星野 雅夫 金子 良子 齊藤 節子 小坂ひさ子 森 春枝 渡邊 豊子
増田三恵子 内木 正夫 茂木 芳治 田中 榮一 石井 静子 大石 瑞枝
江川 忠雄 中村すみ子 近藤 悦子 寺山みよ子

全国社会福祉協議会会長表彰

相澤 明義

東京都社会福祉協議会会長表彰

堀口 勝廣

足立区表彰 社会福祉功労

和栗きみ子 岩城百合子 宮本 勝男 蜂巣 トミ 吉田喜美子 大久保柳子 鈴木 宏往
持齋 忠伸 浅川 全代 松本はな子 中田美佐子 富澤 美保 阿部 英二 治田 陽子
芦川 征子 坂井 成一 梶本三重子 山崎 勝 矢作 繁男 河邊 セツ 富澤 一枝
内藤 久子 清水 信子 石山 和子 渡邊 進 桐田 幸子 土屋 稲善 村松 キヨ
片野 富雄 山崎 道子 伊藤 郁子 木島 利男 藤田 里代 楠美 順二 土田 信也
安西 英子 茂出木直美 鈴木 房子 渡邊 捷司 梶 宏次 清水 洋子 緑川 智子
館山 慶子 矢萩 早苗 小宮 良子 原田やよひ 小宮 謙治 一条 正子 馬場 伸子
福岡佳須子 古庄 行夫 小宮俊一郎 塩田 博子 伊藤 徳治 大山 光子 當麻 文江
下畑 靖子 谷古宇真由美





有 難 う ご ざ い ま し た



前第一合同会長 柳川峯子 様

皆様と共に研鑽を重ねながら、足立区民生・児童委員協議会の充実を目指し、各組織活動の意見、情報等を協議し、協調、発展を目指して活動してまいりました。個々の負担が増大する中で、行事ごとの取組みは、民生・児童委員 558 名が常にところを一つにして助け合い、学び合い、協調し合っ、その目標達成は見事で深く感謝申し上げます。行政と

民生・児童委員と協働のなかで培われた信頼関係はすばらしく、大変活動し易く、充実した福祉活動ができました。これまでの皆様のご理解、ご協力、また優しい励ましに衷心より厚くお礼申し上げます。私にとって全て学びの人生になり、感謝しております。皆様のますますのご活躍とご健康をご祈念申し上げ、お礼の言葉とさせていただきます。



前第二合同会長 吉田幸雄 様

私は、民生・児童委員として委嘱され、昭和 58 年 12 月 1 日から 30 年間活動を続けて参りました。その日々の中で大変難しい問題もあり、また、楽しい出会いもありました。民生・児童委員として責任の重大さを感じ、皆様のご協力や支えもあり、平成 22 年 12 月 1 日第二合同会長に就任し、大役を受けて今日まで大過なく来たことを皆様のおかげと感

謝しております。今後社会環境も変化していく中、3 人に 1 人が 65 歳以上の高齢者になり、上昇の一途です。孤独死の未然防止や早期発見が急務です。今まで得た体験を今後の民生・児童委員の活動に役立ててほしいと思います。終わりにこの 3 年間合同会長の大役を皆様のご支援、行政のご尽力のおかげで果たすことが出来ました。どうか今後も地域福祉推進活動の益々の発展を祈念し、挨拶といたします。



前第三合同会長 中山佳子 様

私は平成元年 12 月に民生・児童委員の委嘱を受け、平成と共に活動して参りました。この間、社会の状況は大きく変化し、介護保険制度も導入され、孤立ゼロプロジェクトもスタートしました。このプロジェクトのさがけとなった見守り活動を平成 23 年より行いました。町会の役員さんと共に携わり、地域福祉のために少しでもお役に立てたならば

幸いです。

最後の 3 年間、第三合同会長という大役をお引受けし、皆様のご支援と行政の方のご指導のお陰で果たすことができました。この経験がこれからの人生にとって貴重な財産になると思います。誠に有難うございました。皆様の益々のご活躍を心から祈念し、お礼の言葉とさせていただきます。

11/20 民生・児童委員 第 67 回東京都大会 文京シビックホール

銀杏の黄葉が快晴の空に映える 11 月 20 日(水) 文京シビックホールにて、第 67 回東京都民生委員・児童委員大会が開催されました。

式典は国歌斉唱、物故者への黙祷、信条朗読と続き、安藤立美東京都副知事、福田豊衍東京都民生児童委員連合会会長のご挨拶の後、表彰状・感謝状の贈呈になりました。

東京都表彰規則による被表彰者(20 年以上) 226 名、特別功労賞(17 年以上) 365 名、一般功労賞(10 年以上) 112 名の方々の代表者にそれぞれ感謝状が渡されました。

また、連合会長より民生・児童委員所管職員、関係機関・団体職員への感謝状贈呈、そして東日本大震災子ども応援募金協力者・協力団体への感謝状贈呈も行われました。

足立区は贈呈を受ける代表団体の 1 つとして選出され、宮崎十三職務代理(現連合会長)が足立区を代表して登壇、感謝状を受け取りました。

その後、まつば多美子東京都議会厚生委員会委員長、矢田宏人厚生労働省社会・援護局地域福祉課長、小濱哲二東京都社会福祉協議会副会長からご祝辞をいただきました。

第二部は小平市民生・児童委員の皆さんによるコーラスで、戦後を辿りながら「りんごの歌」「青い山脈」「ここに幸あれ」等 10 曲近くが表情豊かに披露されました。



記念講演「認知症の人と家族と、支え合う地域を考える」では、テレビキャスター町永俊雄氏が認知症の一つの症状である幻視は「座敷童子」の民話に通じる。認知症を困ったことと捉えず、それ位長生き出来たことを言祝ぐ姿勢を説いていました。

江戸の昔の「ご恩返し」より「ご恩送り」の如く個々の関係を超えた人々のつながり。「ひとりの百歩より、百人の一步」深く考え実践したいテーマです。

(竹の塚地区 小島千恵子 記)



10/29

全 員 食 事 会

東京會館



平成 25 年度の全員食事は 10 月 29 日東京會館で行われました。定刻の 6 時に、アナウンサー堀江慶子さんの司会のもと、区歌「わがまち足立」の

斉唱で始まりました。信条朗読、実行委員長の開会挨拶、主催者代表の中田連合会長は「4 期 12 年間で様々な改革・進歩を遂げられたこと、退任される 91 名の民生・児童委員の方の長年の尽力に感謝を申し上げる送別会にしたい」と述べられました。ご来賓の近藤区長の挨拶のあと、大江秀敏東京消防庁消防總監からは伊豆大島の台風 26 号による土砂災害時に民生・児童委員の活躍があったこと、災害時要援護者名簿の

必要性を感じられたと話されました。

第二部では退任される方々の紹介があり、代表として田中榮一 8 地区会長のお礼の言葉、檀上での記念撮影、その後各合同による余興が開始され、琴、三味線、日本舞踊、そして声楽、カラオケと日頃の自慢の腕・声をご披露していただきました。

中田連合会長、各合同会長、実行委員の皆様、福祉部職員の方には大変お世話になりました。ご尽力、厚くお礼申し上げます。



(東綾瀬地区 河邊セツ 記)

団体名シリーズ 4

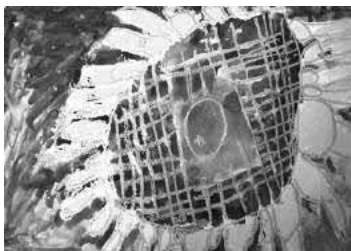
地域で青少年を育てる組織の紹介

足立区では、地域で青少年を育成する様々な組織や制度があります。私たちが地域で活動する際に、一緒に活動することが多い方々についてご紹介します。

1. 青少年委員

青少年委員は、地域で青少年を育成するために昭和 28 年から始まった東京都独自の制度です。民間の指導者が教育委員会から委嘱され、身分は非常勤公務員となっています。昭和 40 年には東京都から区へ事務が移管され、今日に至っています。

足立区の青少年委員は、各地区の青少年対策地区委員会が推薦母体となって、各小学校区・中学校区から 1 名ずつの委員が選出され、教育委員会より委嘱されています。青少年の集団活動を促進する援助者として、青少年団体相互の連絡調整、青少年リーダーの養成、青少年活動の運営などについての相談、指導に務めています。また地域が学校を支援するための取り組み役、コーディネーターとしての役割も担っています。



西伊興小 3 年 田中海斗 作

2. 青少年対策地区委員会（地区対）

地区対は、地域における青少年の健全育成を図るため設置された機関です。足立区では、昭和 26 年に 3 つの地区対が設立され、昭和 28 年に 25 の地区

対が組織されました。地域の青少年健全育成に関わる団体などの連絡調整を行うためにスタートしました

が、昭和 36 年から事業の実施機能をも兼ね備えた自主的な組織となり、地域の実情に応じた活動をしています。

委員は町会自治会、PTA、学校、少年団体の代表と、青少年委員、スポーツ推進委員、民生・児童委員、保護司といった行政からの委嘱・任命指導者で構成されています。足立区全体では 1700 名程度の委員がいます。運営は区民事務所が事務局となって進めています。

3. 地区少年団体協議会（地少協）・足立区少年団体連合協議会（少連協）

足立区では、昭和 40 年に中学校通学区ごとに子ども会作りを呼びかける組織を作りました。その足立区少年団体育成地区推進委員会が地区少年団体協議会（地少協）として昭和 41 年に 24ヶ所でスタートしました。

地少協はその地域の子ども会がより充実した活動をするために、支援をしたり、足立区全体の情報を提供する役割を担っています。

足立区少年団体連合協議会（少連協）は昭和 40 年に設置した足立区少年団体育成推進委員会を発展させ、昭和 41 年に 24 の地少協によって発足しました。現在、30 の地少協とスポーツ少年団により組織され、各団体相互の連絡と協調を図ることで子ども会を始めとした区内の青少年団体活動の発展を目指しています。

他の自治体では子ども会連合会として組織されていることが多いのですが、足立区は子ども会に限らず、区内の青少年団体全体をまとめるというねらいからこの名称が使われています。

足立区は活動記録提出 100% 継続中です



子育て応援団 大谷田小学校

防災訓練



秋晴れの下、私が本部長を務めさせていただきました第16回大谷田小学校避難所管理・運営会議は、11月17日（日）の足立区総合防災訓練と連携し、初期消火、応急手当、炊き出しなどの訓練の他、避難者台帳やライフライン関係事業者による啓発も取り込んだ総合的な訓練を行いました。当日は250名を超える方が参加し充実した有意義な訓練となり、改めてこの地域の意識の高さを実感いたしました。

これまで本避難所では、通常の訓練の他に中越地震の被害者から体験をお聞きしたり、パネルディスカッションを開催するなど、様々な取組みの中で災害に対する見識を深めてまいりました。

しかし、課題はまだ残っています。民生委員という立場からだけではなく、皆さんが感じていることと思いますが、いわゆる災害弱者と言われている方に対する対策もそのひとつだと思います。

避難所まで一人で来るのが困難な方には、家族、近所の方の協力が必要になります。また、避難所で他の避難者との共同生活が難しい方もおります。

今後、このような課題について皆さんと共に考え、訓練を重ねていくことにより地域全体に“自助”から“共助”の精神が芽生え、いざという時に安心できる避難所の確立に繋がっていくものと思っています。

（第二合同会長 小久保 隆 記）



華園流発表会 千寿常東小学校

華園先生の会に参加させていただいて

夏休みの初めに、地域の華園流家元 華園夢乃先生より10月12日に浅草公会堂大ホールで行われる『華園流 創流二十周年記念 華園の会』に是非千寿常東小学校の子どもたちに参加していただきたいとの有難いご依頼がありました。

演目は、2年生有志の『花笠音頭』と、1～4年生有志の目木舞踊『越後獅子にのせて』のふたつです。

一体何人応募してくるかとても不安でしたが、『花笠音頭』に50名、『越後獅子にのせて』に30名の応募がありました。花笠音頭は、華園先生のご指導による5回の練習の中で、運動会の動きを多少アレンジしていただきました。

本番は山形県の皆さんと同じ舞台上で踊ることができました。

『越後獅子にのせて』は、礼に始まり、礼に終わるなど、子どもたちにとっては大変難しい練習が続いま



した。1か月少々期間に、華園先生から13回のご指導をいただきました。どちらも途中でやめる子どもがほとんどなく、浅草公会堂の花道のある立派な舞台の中で堂々と演技し、大きな拍手をいただきました。子どもたちにとっても大きな自信になり、一生忘れない思い出にもなると考えております。

これまでのご指導、誠に有難うございました。厚く御礼申し上げます。（千寿常東小学校長 山田誠 記）



西伊興小1年 高橋侑未奈 作

足立区立千寿常東中学校

ありがとうございましたこの一言が
最初のうちはなかなか言えず
二年 水野 亮

一歳の子の小さな強さ
転んでもにつこり笑って立ち上がる
二年 任 淳蓉

職場体験で地域の皆様に
お世話になりました

泣いて思った上手になると
今年初新人戦で悔しくて
二年 小池 亜実

風と戦え自分と戦え
あと少しゴールをばむ向かい風
二年 塚原 元気

学校生活の中から

中学生短歌コーナー



絆づくり シリーズ3 花保商店会「買い物難民」への支援サービス



10月8日、買物支援サービス事業を運営されている花保商店会鈴木義雄会長にお話を伺いました。高齢社会となった今日、花保商店会は通常の商店街と違い店舗が点在しているため、各店の活性化の糸口を見出すチャンス事業として東京都・足立区買物支援事業に応募し、現在は足立区産業振興課の指導・支援を仰ぎながら平成24年11月よりこの事業を展開しています。この事業は商店会だけではできない事業、つまり各店主が買物支援事業に専念できないので、町会の老人会「花保睦会」の協力を得て、運営は「花保商店会」、活動は「花保睦会」に委託し、行政も含め役割分担制で成立つ「三位一体事業」であります。

事業内容は、①花保商店会での買物支援サービス、



栗原北小4年 川俣凜寧 作

②買物されたお客様を「送迎するサービス」(加盟している歯科医院、美容院、接骨整体院も含む)、③買物の休憩所として「お休み処」の設置サービス、④商店会加盟店の商品や地域の農産物及び3.11の大震災で被害を被られ

た地域の商品を取りよせ、宅配サービスを武器に活性化を図る。

このサービスを受けるには足立区買物支援サービス事業会員になる必要があります。

入会の条件は、花

畑、南花畑、東保木間、六町に居住し、かつ

- (1) 年齢満60歳以上の方
- (2) 妊娠している方
- (3) その他花保商店会が買い物困難であると認めた方

なお、会費は無料で業務時間は平日の午前10時から午後3時までです。

現在は、会員223名、事務局を「お休み処」に置き、「花保睦会」の協力で軽ワゴン車1台が稼働、午前1組、午後1組程の送迎及び宅配サービスを行い、「お休み処」では1日約15名の高齢者の方が利用され、新たな地域コミュニティ開発に寄与しております。今後、事業継続する課題として、会員を500名に増員すべくPR活動等実施されとのことです。

(17地区 金子みどり 18地区 鶴田晴久 記)



ぶらり足立 荒川放水路

荒川放水路(現在は荒川)は、大正時代に掘られた河川です。しかし、現在は自然にとけこんでしまい、放水路という名称を知らなければ、人工河川であることをまったく感じさせなくなっています。

この河川の目的は、明治43年(1910)の下町大洪水を二度と起こさないために大正3年(1914)～昭和5年(1930)にかけて工事が行われたものです。

この河川敷は、昔は水泳場、ボートや魚採りの場として子ども達に親しまれ、現在では各種運動場として区民に利用されています。

この河川敷に、貴重なトンボや狸、マムシなどが生息していることを知っている人は少ないでしょう。し

かし、生き物にとっては大切な場所なのです。

添付した写真は、昭和2年常磐線荒川鉄橋北側の風景です。まだ河川敷には、水田耕作をしている風景が残っています。先の東日本大震災では一部液状化しましたが、区民の避難場所として今でも大切な場所になっています。(花畑地区 鈴木恒雄 記)



写真『写真で見る足立の歩み(2007)』より

編集後記

「さくら」の広報部員になって3年間を終わることができました。広報部の仲間と月1回ですが、和気あいあい楽しい会議でした。

日頃の民生・児童委員の各地区の諸行事、行政、学校との関わり、広報部員の協力があって、文章の

苦手な私がここまでできたことに感謝しています。これからも「さくら」を愛読してください。

民生・児童委員を今期で退任された方々、今後ともご指導よろしく願います。

(江新地区 松島勝巳 記)

○小学生掲載絵画および中学生詩歌、俳句の依頼は、
第一合同から第七合同の小・中学校に順番にお願いしております。

○皆様の原稿を募集いたします(原稿は未発表のものに限ります)。次号発行予定日 7月1日

広報委員会

委員長

秋本雅信

副委員長

数下奈穂美

書記

鶴田晴久

会計

金子みどり

編集主任

小島千恵子

レイアウト主任

木内信雄

校正主任

江川明美

編集委員

齋藤祐子

山崎秀夫

田中礼子

渡邊進子

櫻井春子

森原稔子

坂井潤子

丸山まさ子

鈴木恒雄

校正委員

秋葉千秋

山本滝子

志賀口博人

久保幸子

福岡佳須子

戸張光子

西野いちよ

高橋和枝